



平成 27 年 3 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャックス  
代表者名 取締役社長 板垣 康義  
コード番号 8584 (東証第 1 部・札証)  
問合せ先 取締役上席執行役員 佐藤 康准  
(TEL : 03-5448-1375)

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2015 年度から 2017 年度までを計画期間とする第 12 次中期 3 カ年経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

2014 年度を最終年度とする第 11 次中期経営計画「ACT11」では、当社が目指すべき中長期的なビジョンとして「日本を代表する先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」を掲げ、ビジネスモデルの改革に取り組んでまいりました。この結果、7 期ぶりとなるトップラインの反転拡大をはじめとして、ベトナムやインドネシアへの事業進出、債権良質化の進展など着実な成果を上げ、経営体質の強化を図ることができたと考えております。

新たにスタートする中期経営計画「ACT-Σ」(アクト・シグマ)では、中長期ビジョンを継承し、これまでの取り組みを進化させてまいります。

「グループシナジー」「先進性」「CSR」を重点方針とする経営戦略の実行によって、さらなる成長のステージを駆け上がり、6 年越しとなるビジョンの実現と、自己資本利益率 (ROE) 9%以上を目指してまいります。

#### 第 12 次中期 3 カ年経営計画「ACT-Σ」(2015 年度～2017 年度)

##### 1. 中計ビジョン

##### 「日本を代表する先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」

- 多様な収益基盤を有し、継続的な成長を遂げている。
- ASEAN における事業基盤を確立し、さらなる海外展開を目指している。
- マーケットニーズを機敏に捉え、商品・サービスを拡充している。

##### 2. 重点方針

###### ① 「グループシナジーによる収益基盤の拡充」

- ・ 三菱東京 UFJ 銀行をはじめとする三菱 UFJ フィナンシャル・グループ各企業との連携により、海外事業・新事業の展開を加速させる。
- ・ 子会社の経営管理を徹底するとともに、当社既存事業との連携による収益力の向上を図り、グループ力の強化を目指す。

- ② 「経営資源の戦略的活用による先進性の追求」
- ・ システム投資の効果を極大化し、トップライン拡大とコスト抑制の両面において、競争優位となる先進性を備える。
  - ・ コスト構造改革の断行と、マーケティングをはじめとする重点分野へのリソース投下により、一層の経営体質強化を図る。
- ③ 「高度なCSRの実践」
- ・ 透明で公正な事業活動を通じて、あらゆるステークホルダーの満足度を向上させる。
  - ・ コンプライアンス態勢のさらなる強化を推し進め、健全な市場拡大に寄与する。

### 3. 計数計画

(億円)

【連 結】	2015 年度	2016 年度	2017 年度
営 業 収 益	1,148	1,251	1,364
経 常 利 益	135	155	200
R O E	6.5%～7%	7%～8%	9%以上

【単 体】	2015 年度	2016 年度	2017 年度
営 業 収 益	1,110	1,186	1,275
営 業 費 用	981	1,047	1,105
営 業 利 益	129	139	170
経 常 利 益	128	138	169

以 上